

# 中文大家乐

みんなで楽しむ中国語

2008.6.8(端午節)

端午節版 発行 松江中国語教室連盟

<http://homepage3.nifty.com/chinese-wang/>

協力 日本中国語検定協会松江会場  
こんにち輪「島根と海外を結ぶ会」

## 感动・感谢

“五月十二号我的祖国遇难了,请你们帮帮我,一人献出一百日圆就可”。这是我在四川大地震后上课前的开场白。

八级的地震让全世界为之震惊,让世人为之哭泣,让近七万同胞一夜间与我们阴阳两隔,让这山清水秀的地方化为一片废墟。同时更让我为之感动的是你们,不分国籍献出你们一份份真情,把一封封承载着用语言无法表达的信封处递到我的手中。我知道里面装载的不光光是捐款,是你们一颗颗慈善的心。谢谢你们的理解,谢谢你们的善良,谢谢你们的爱心,谢谢你们的支持,我可亲可敬的中文班的朋友们。随之附上一首悼念遇难学生的让人心碎的小诗

妈妈你不要哭,  
你的泪光照亮不了我们的路,  
让我们自己慢慢走。  
妈妈你不要哭,  
我一定记住你和爸爸的模样,  
来生我们还要一起走。

仲燕(国際交流会教室中国語教室講師)

四川大地震チャリティコンサートは以下の通り開催いたします。

15日2時～ 城東公民館交流ホール

29日13:30～ 16:30～彩雲堂本店2回公演

四川大震災義援金を以下の郵便口座でも受付いたします。義援金は四川大地震で被害にあった子どもたちのために使われます。郵便口座番号  
01310-7-46731 口座名義 こんにち輪の会

## 感谢信

2008年5月12日、发生在中国四川省汶川县的大地震、让很多人失去了亲人、失去了家园。地震发生以后、来自日本的救援队、第一批迅速赶到四川灾区、参加了搜救工作。同时、在日本的很多地方、出现了为四川灾民募捐的活动。在此、我们表示深深的感谢、谢谢日本朋友们的支援和关爱。并且衷心地希望中日友谊能源远流长。

2008年5月12日、中国四川省汶川県で大地震が発生し、多くの方が身内を失い、家を失いました。地震の発生後、日本からの救援隊は、最初に迅速に四川の被災地区に到着し、救助作業に参加しました。同時に、日本の多くの地方で、四川の被災者への募金活動が行われました。この場をお借りいたしまして、私達は深い感謝を表します、日本の友達の支援と関心と愛に御礼を申し上げます。また心から、日中の友情がこれからも永遠に続くことを希望いたします。

胡斌(山陰中央新報文化センター中国語教室講師)

四川省の復興を期して  
杜甫の絶句を思い起こ  
して寄す  
多賀礼子

この度の四川省大地震に際し、被災なさった方々へ心よりお見舞い申し上げます。また、お亡くなりになった方々に衷心より哀悼の意を表します。一日も早い復興を願うと共に、尚一層援助活動をはじめ、日中友好の深まることを願ってやみません。

江碧鸟逾白 山青花欲然

李白、杜甫といえど日本人なら誰でも知っている大詩人である。

山今春看又过 何日是归年

松江にも奇しくも、この李白の名を借りた銘酒まであるほどだ。李白は四川の生まれで唐の玄宗皇帝に仕えていたこともあり、詩仙と

jiang bì niao yú bái

称されている。一方杜甫は、科擧にも縁がなかったが、李白と親交

shān qīng huā yù rán

があり、両者とも安祿山の戦いで大きな岐路に立つ。杜甫はその後

jīn chūn kàn yòu guò

成都の草堂に四年住んだとある。成都の風景の美しさは心情と相ま

hé rì shì guī nián

って詩聖杜甫に傑作を生ませた。この五言絶句は色鮮やかに浮か

江碧にして鳥いよいよ白く

び上がる情景が深い感動を呼び、長く日本でも愛されている珠玉の

青くして花燃えんと欲す

作品である。最後の結句の箇所を、この度は”いつの日か”ではな

今春みすみす又過ぐ

く、”必ずや”と置き換えて、帰郷の日の来ることを祈っております。

いずれの日かは帰年ならん

## 友 情

今年3月份的一次中国旅行、我有了几个新发现。

一个是:在中国、老师有很多好朋友。旅游的时候、老师会和他们在每一个地方见面。尤其是两位学生时代的同学、他们特地从很远的地方、坐汽车花很长的时间来看我们的老师。我深受感动。还有、我丈夫的那些中国的老朋友们也是一样。去旅行之前、丈夫就写信给上海的朋友们、于是他们时隔17年、又见面了。

听说、在中国有这样一句很有意思的俗语:「在家靠父母、在外靠朋友」、我觉得中国人说得很有道理。在回国去机场的汽车上、我和老师又说起了这些事情、出租司机听后就连连点头。这是非常感人的事情。

还有让我很感动的事情是、在坐地铁的时候、中国的年轻人主动给我们团员中的老人让坐。另外就是中国式的干杯、让我觉得很吃惊也很有意思。

总之、这次的旅行很愉快、我们渡过了快乐的时光。还有就是、我要好好学习中文、为了下次去中国旅行的时候、让老师能轻松一些。  
(小藤 素子)

## 大家来看中国电影吧！

大家好!你们看过中国电影吗?我开始学习中文也是因为我很喜欢看中国电影。中国电影中有很多风景美丽的作品。现在天给大家介绍三部风景、故事都不错的电影。你看了一定满意。看电影对训练听力有好处。可能的话,最好看原声的。

### 【我的父亲母亲】 日文题目【初恋のきた道】

导演 张艺谋

演员 章子怡

故事 一个青年教师从都市来到农村。一个漂亮女孩子对他一见钟情…。

拍摄地方 河北省 承德上高原

一句评论 群山的四季风景非常美丽。这部电影是章子怡第一次出演的作品。她拎着饺子碗全力奔跑的样子很可爱。但是她喜欢的那个青年教师…却不太帅。



### 【那山、那人、那狗】 日文题目【山の郵便配達】



导演 霍建起

演员 滕汝骏, 刘烨

拍摄地方 河南省 绥宁

故事 父亲长年在深山中做邮递员。他即将退休,准备把这送信的工作交给自己的儿子。父亲带他儿子走一趟送信之旅。父子两个走过一个又一个的山村。在壮阔的山林父子的感情开始默默地交流。

一句评论 风景好象一幅美丽的画。我感觉送信等于传达感情。感情传达也许跟山村送信一样费事。也请关注“老二”的演技。

中国関係島根(現代)偉人メモ

## 中国関係島根（現代）偉人メモ

中国語を習い始めてから早5年以上が経過しました。いまでは、中国のことなら何でも興味を持って取り組むように努めています。

そこで、今回は中国に関わりのある現代島根に関係する偉人についてメモしてみました。

1～4までは、いずれも著名な中国文学者・作家であり、その翻訳、著作は膨大なものです。

### 1 増田渉(1903～1977)

鹿島町片匂生まれ 旧制松高から東大へ。元島大文理学部教授佐藤春夫に師事し中国文学を学ぶ。1931年中国に渡り上海で、魯迅から中国語を学ぶ。

帰国後も魯迅が亡くなるまで文通が続き、我が国魯迅文学研究の第一人者として令名高く、今も上海、北京の魯迅記念館や、鹿島歴史民族資料館に魯迅との手紙が展示されている。関西大学に「増田渉文庫」有り。



### 2 駒田信二(1914～1994)

東大卒業後旧制松高・元島大文理学部教授

1979年「菊池寛賞」受賞

旧制松高では、高橋和巳に中国文学を教える。

1984年8月11日一畑ホテルで開催された第1回島大法文学部同窓会にて講演をしていただいた。

### 3 高橋和巳(1931～1971)

旧制松高から京大へ。元京大助教授

吉川幸次郎について魏晋南北朝文学を

専攻する。学園紛争において学生の側にたって大学側と対立、辞職。

1962年「悲の器」で河出書房文学賞。

39歳の若さで亡くなった。

### 4 入谷仙介(1933～2003)

京大から元島大法文学部教授

高橋和巳と同じように京大で吉川幸次郎、

小川環樹について古代中国文学を専攻する。

日本・中国でも著名な王維研究第一人者。

松江市、出雲市において漢詩を市民に指導。

県立図書館に膨大な「入谷文庫」寄贈。

全国難聴者連絡協議会会長も務めた。

### 5 宇野重昭(1930～ )

隠岐西の島町生まれ 旧制松高から東大へ。

成蹊大学学長を経て現在島根立大学学長

元国際政治学会理事長

毛沢東・中国共産党史中国近代政治史の研究

### 6 竹下登(1924～2000)

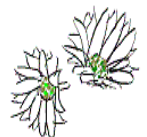
掛合町生まれ 松江中学から早稲田へ

元内閣総理大臣

日中友好議員連盟をはじめとして、青年団時代からも長い間日本と中国のパイプ役に努めた。

先日の胡錦濤中国国家主席の早稲田大学での講演においても、中国との友好親善とその交流を進めた業績については、中国政府から高く評価されている。

総理時代1988年8月29日西安人民大厦での演説において、長安のシルクロードの文化こそ日本人の文化の源流で心のふるさとであるとして中国・日本の文化交流の必要性について力説した。



なお、島根県立大学北東アジア地域学術交流財団では、ほぼ毎年中国に関する市民公開講座・NEAR カレッジを開催されており、その講師として次の思い出に残る先生を始めとして、その他たくさんの高名な先生方の講義を聴講するとともに、楽しい懇談の機会を与えていただいている。

溝口雄三 東大名誉教授 中国社会科学院名誉教授 島根県立大学非常勤講師  
どんな質問を市民がしても、一生懸命熱意を持って教えてくださいました。

天児 慧 早稲田大学大学院太平洋研究科教授  
懇談の機会に自分の祖先は、出雲の尼子だといわれ親しく懇談できた。

身近な島根に関係する偉人を研究することにより、巨大な中国にアプローチするのも一つの方法だと思います。  
(吉野 伸次)

(接第2版)

### 【巴尔扎克与小裁缝】 日文题目『小さな中国のお針子』

导演	戴 思杰
演 员	刘 烨, 陈 坤, 周 迅
拍摄地方	湖南省 武陵源 张家界
故 事	七十年代的中国, 两个知识青年上山下乡来到一个小山村。一天, 他们和村里的小裁缝相遇。活泼开朗的小裁缝给他们的生活带来了光亮, 他们同时慢慢地爱上了小裁缝。他们生活中唯一的乐趣是偷看一本禁书…巴尔扎克的小说。这本书改变了小裁缝的一生…。



一句评论 三个年轻演员的演技很好。值得一看。

(奈良 麻子)

## 地震给人们带来的

今年的端午节, 全国出外旅游的人少了, 吃粽子的人多了。一是震后交通上忙着为灾区运建材物资等, 二是人们更想在家团聚, 和亲朋好友吃吃粽子聊聊天, 出游的愿望便不强烈了。

中国的一位作家去灾区的学校看望孩子们。因为她的一篇文章《提醒幸福》被选入了语文教材, 学校校长请她借此给孩子们上一堂语文课。在问及孩子们谁是最幸福的人时, 孩子们说是他们自己的回答使她惊呆了, 难以置信。但这的确不像是事先准备好了的答案。目睹身边许多同学的死, 而自己却幸存下来, 得到天下人的关爱, 这就是最大的幸福。

面对成千上万失去家园的人们, 有房可住, 有饭可吃, 有床可睡, 有班可上, 有亲人陪伴的平凡生活就是至上的幸福。幸福原来很简单。

地震给人们带来了太多太多的痛苦, 也让人感悟到什么是幸福。

中檢協会が実施している中国語の学習成果を測るため中国語検定試験は3月、6月、11月の第4の日曜日年3回松江テルサで実施されています。

中文大家楽は正月版、端午節版、中秋節版、年3回を発行します。中国や中国語学習についての記事は随時募集しております。

(转第4版)

## 春雪(二)

云海

“瞧你，和子，一个人在那儿咕哝些什么呀？怎么一向沉着冷静的和子好像有些奇妙、走神，是不是黄金周过得太短了？”“哎，走神，不会吧？”和子接过话题，边说边把那资料递给纯子。“受田中课长命令，得马上组织一个 **Business Group** 作为对中华企业的业务窗口，从公共、互访、契约、市场、技术咨询、信息互馈、投诉处理都得考虑。这是下周一家中国大公司三金实业有限公司的来访资料。听田中课长介绍说该公司很有背景的，看来以后够我们忙的了。哦，对了。你瞧那来访名单里有一位叫周月燕的，如果是同一个人的话，那可真是太有意思了。”“怎么回事？”纯子感到不解的追问，“说来话长，我早年留学北京时，有一位好朋友也叫周月燕，当时是北京外国语学院日语系的学生。她叔叔当时是中日友好协会的理事长，经她叔叔介绍我们相识，后来成为好朋友。在北京那段时间里，我们常在一起聊天，shopping，聚会，筹划文化节，假期里一起旅游，长城、故宫、颐和园、天坛等北京的名胜古迹，那是不用说了，我们都一一跑遍了，而且一起从成都到上海，从西藏到内蒙，周游了大半个中国，玩山游水，看云赏石，真是人生精彩难忘的一页。很有趣的是，我们只要在一起，她说日文，我说中文，那可是真正的中日交流，不是吗？当时我觉得周月燕不光长得可爱、性格开朗，而且天资聪颖、思路敏捷，又有她叔叔引路，将来一定了得。”

“那太酷了，后来呢？”纯子偶尔插进些小疑问。“我毕业后，在香港无限株式会社找到工作。去香港，是因为父亲转去香港工作，母亲也随去，我从小因父亲的工作关系随父母在美国生活，习惯和家族在一起，父母已去香港，我一个人回日本也觉得冷清，所以也跑去香港了。而周月燕呢，和我相反，毕业后，申请到了全额奖学金，来日本留学深造。当时在神户一家叫大谷的老夫妇家 **Homestay**。那家的老夫妇因在阪神大震灾中痛失了自己的儿女，所以对周月燕特别，就像自己亲生女儿似的关照，周月燕呢，对大谷老夫妇也特别孝敬，就像自己父母似的。周月燕学成回国时，大谷夫妇居然千里相送，把周月燕一直送到北京。真让人感动！三年后，因我父母返回日本，我呢？也经公司同意，被调回日本总部。尽管，我和周月燕都是来去匆匆，但直始至终保持着联系。对了，前些时间，当北京申奥成功后，接到她的来信，说奥运时，得一定让我再去北京，（转第6版）

## 中国のらららら (11)

入井 真一

中国への旅行は20数回行っているが、その内3回程日本から船で出掛けている。船旅は古代とは比べ様なく早く快適な旅だろうけど神戸から天津、大阪から上海で50時間程度掛かる。一番近い下関から青島でも30時間くらい掛かる。ただゆつくりとした時間の流れの中で、かつ飛行機と違い船内から中国の方々とも交流が出来るのが長所にもなる。というか長い時間をお互いに持て余して話でもしないとすることが無いのだが。最近是中国現地で航空券を手配している関係上、帰路を近い韓国に船で渡つてから飛行機で帰る場合も有る。中国では鉄道の旅が一番好きだが、近年出来た上海から杭州や南京への高速列車は日本の新幹線と比べても遜色なく早く快適で尚かつリーズナブルです。北京や上海以外にも大きな都市は地下鉄が計画中も合わせて発達してきている。ただ一度だけ行った重慶、成都、昆明などの内陸部と沿岸部に近い所ではインフラ整備には差が有るのが現状で北京や上海などと比べると格差は開いていつているようです。ライフワークにしている日中の近現代の歴史理解や一般市民への伝わり方を記念館や資料館とかで各地で見聞するに近年は危惧を抱くことが有る。昨年リニューアルされた南京虐殺記念館とかはシンボライズされている物だと思いが、日中双方の政府の対応に物足りなさ行き過ぎを感じている。個人的には上海師範大学教授の蘇智良さんが長年活動している成果の中国慰安婦資料館などは少しは公的援助が有っても良いと思う。慰安婦関係の資料館は日中韓を代表する大都市東京、上海、ソウルに有るが関心を持ち続けていきたいと思っている。中国韓国との若者留学生は差別意識が強くなった明治末期にも多かった。地域にも多い今の留学生達と共に現代の功罪を忌憚無く話し合ってみよう。

## 端午節への想い



端午節というと、私は子どもの頃食べた芳しい「粽子」(ちまき)のことを思い出す。「粽子」の季節になると「粽子」用の筍の皮が市場で売られていた。一晩水につけておいたもち米をそれに包み、紐で結び、茹でれば竹の香りがする「粽子」が出来上がる。私は砂糖をつけただけのシンプルな味が大好きだった。経済発展が進むにつれ、中国各地の「粽子」が地元のスーパーで手に入るようになった。肉の「粽子」や小豆の「粽子」など実に種類が多く、さらに包む皮のほうも芦、笹の葉などたくさんある。しかし私はやはりあのシンプルな味の「粽子」が懐かしい。

旧暦の5月5日は2000年の歴史を持つ端午節(今年の6月8日)である。中国の伝統的な祭りが長く続くかどうかはその祭りがおいしい食べ物と結びついているかどうかにあると思う。今もなお残っている伝統の祭りを考えてみるとそれは分かる。お正月といえばおせち料理、

元宵節といえば、「元宵」(餡入り餅団子)、中秋節ときたら月餅(お焼きに近いかな?)とすべて食べ物につながる。中国人は食にかける情熱だけはどの国にも負けないことだろう。

端午節の由来についてはいくつか説があるが、最も知られているのは戦国時代の浪漫主義の愛国詩人として崇められている屈原(前340頃～前278頃)の話である。屈原は楚王の側近として活躍していたが、王に自分の諫めを聞き入れられず追放され、代表作の長編詩「離騷」に才能を發揮できない鬱憤を晴らした。最後に愛する祖国が滅亡するのを見るに忍びなく、5月5日に汨羅川に投身してしまう。後に彼を探すために多くの人が船を出したが、屈原の亡骸が魚に食べられないように、竹筒にもち米を入れ、それを川に投げ入れたと言う。そのときの竹筒が今の「粽子」のもととなったというわけだ。屈原を捜索する船を出したことに因んで南部地方では端午節の「龍舟」(ドラゴンボート)レースを行う。しかし実のところは、端午節は屈原が生存する以前からあった祭りというのが正しそうである。5月は急に暑くなるので、伝染病が広がりやすく、亡くなる人が多かった。その為、5月を「毒月」と呼び、厄除け、毒除けをする意味で菖蒲や蓬の葉を門に挿し、体に香囊(お守り)をつけ、雄黄酒(漢方薬)や「粽子」を食して健康を願うのが端午節本来の意味であるらしい。

今年から中国は5月のゴールデンウィークをなくし、今まで休日でなかった端午節を休日とすることにした。伝統を重視するのは大切なことだし、「粽子」が大好きな人にとっても一日ゆっくりと味わえてうれしい限りだ。

王 岷雪(松江テルサ中国語教室講師)

(接第5版)但没有提起三金实业有限公司的事。”

和子见纯子听得入神，故意收住话题，“想知道周月燕回北京后之事，那就请你自己去问吧，我会介绍你们认识的。”“那太好了，什么时候来日本？”“5月12日，星期一”说完，和子在日历上圈出日期，又在电脑的Scheduling档案里做了档。

“顺便问一下，纯子，你那位早稻田的才子最近怎么样了？代问一下是否有意来我们这儿工作？”“哎，和子，怎么了，我看你比我还关心他呢，他最近在忙他自己的事，不管他愿不愿意，我可不愿意让他来这儿工作的。”“叮铃铃”两人的对话被电话铃声打断，和子接过电话，电话那端传来田中课长熟悉的声音“该是午餐时间了，叫上纯子，顺便谈谈有关三金实业公司来访的事，哦，对了，今天该用什么餐了？”“今天是中国话题，当然是中餐了，你看呢？”“OK，在‘世外桃源’见！”